

科目	ゼミナールⅢ(K)	担当	野村 淳一	履修学年	4年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	2単位

**【授業目標・到達目標】**

本ゼミナールでは、ICT利活用をテーマとし、社会で生じる諸問題に対して、ICTを援用し解決策を提案することを目的とする。特に、ハードウェア(PC、スマートフォン、ドローン、3Dプリンタなど)やインターネットと、ソフトウェア(アプリ、SNS、Google、ゲームなど)を組み合わせ、新しいシステムを創造することが目標である。受講生は、既存の各種のプロジェクトに参画、あるいは新規のプロジェクトを提案・運営することが求められる。

本科目の到達目標は、ICTに関する実践的な知識を身近な課題に適用する能力を獲得することである。

**【履修注意】**

■プロジェクトは学生主体で運営されるため、積極的な姿勢で臨むこと。

■プロジェクトによっては、学外での活動や講義時間外の活動が必要となる。

**【評価方法】**

卒業論文の中間報告・中間発表(80%)、プロジェクトの成果(20%)に受講姿勢を加味し、60%以上の評点を得た学生を単位認定する。なお、6回以上欠席した学生は単位認定しない。

**【試験について】**

試験は実施しない。

■再試験は実施しない

**【予習・復習】**

社会的な課題の解決に必要なICTを使ったシステムの考案に当たっては、その技術について深く理解し、運用・操作方法に精通していなければならない。週に90分以上、意識的にICTに触れ、スキルを高める姿勢が求められる。

**【教科書】**

購入教科書なし。

**【参考書】**

**【その他の注意事項】**

**【授業計画・内容】**

回数	項目	内容
1	卒業論文執筆	卒業論文第一次中間報告、先行研究の調査
2	卒業論文執筆	プロジェクト参画、問題解決策の検討、ICT利活用
3	卒業論文執筆	プロジェクト参画、問題解決策の検討、ICT利活用
4	卒業論文執筆	プロジェクト参画、問題解決策の検討、ICT利活用
5	卒業論文執筆	プロジェクト参画、問題解決策の検討、ICT利活用
6	卒業論文執筆	プロジェクト参画、問題解決策の検討、ICT利活用
7	卒業論文執筆	プロジェクト参画、問題解決策の検討、ICT利活用
8	卒業論文執筆	プロジェクト参画、問題解決策の検討、ICT利活用
9	卒業論文執筆	卒業論文第二次中間報告、問題解決策の検討
10	卒業論文執筆	プロジェクト参画、問題解決策の提案、ICT利活用
11	卒業論文執筆	プロジェクト参画、問題解決策の提案、ICT利活用
12	卒業論文執筆	プロジェクト参画、問題解決策の提案、ICT利活用
13	卒業論文執筆	プロジェクト参画、問題解決策の提案、ICT利活用
14	卒業論文執筆	プロジェクト参画、問題解決策の提案、ICT利活用
15	卒業論文執筆	卒業論文第三次中間報告、問題解決策の提案
16	卒業論文執筆	卒業論文の中間発表、相互評価、プロジェクト成果発表